



生活保障制度の狭間を埋める

豊中市社協コミュニティソーシャルワーカーの取り組みから

豊中市社会福祉協議会 勝部 陽子

2, 豊中市社協の経緯

昭和58年	法人格取得
昭和62年	賛助会費導入 *福祉のまちづくり講座、給食サービス
平成 4年	校区ボランティア部会設置事業 福祉作業所連絡会...なかまの店
平成 7年	阪神淡路大震災
平成 8年	小地域福祉ネットワーク活動
平成13年	介護相談員派遣事業
平成15年	こころのボランティア講座・ちょボラサロンへ
平成16年	地域福祉計画を市と協働で作成 福祉なんでも相談窓口を各校区に設置 *地域福祉ネットワーク会議、CSW配置
平成18年	運営推進会議へ参画
平成21年	福祉公社と統合 地域福祉権利擁護センター、地域福祉活動支援センター 安心生活創造事業 パーソナルサポート事業
平成23年	生活困窮者自立促進モデル事業
平成25年	

福祉協会上

平成7年1月17日
阪神・淡路大震災 小地域ネットワーク本格化



3, 校区福祉委員会活動

校区福祉委員会とは...

概ね小学校区単位に結成された住民のボランティア組織

(豊中市では38校区福祉委員会/41小学校)



校区福祉委員会活動 その2

個別援助活動...見守り・声かけ活動・個別支援

グループ援助活動...ふれあいサロン

世代間交流・ミニデイサービス

会食会・子育てサロン

その他...災害時の安否確認事業

子どもの安心安全見守り活動

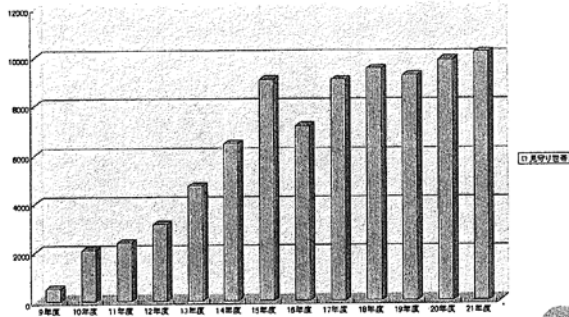
福祉なんでも相談窓口

校区福祉委員会活動 その3

- 福祉なんでも相談窓口(小学校区ごとに設置)
- 身近な福祉相談の実施と専門機関への取次ぎ
- 地域住民が集う、交流ふれ合いの拠点
- 福祉サービスに関する情報、ボランティア情報、地域福祉活動情報の受発信
- 概ね週1回、2時間開設



見守り世帯は 12000世帯に



子育てサロンは大盛況

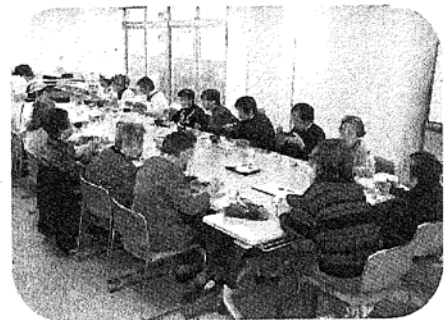
各小学校校区で
月1～2回
育児不安の解消へ



ミニデイサービスを実施
住民主体の小規模多機能の運営



会食会は地域のつながりづくり



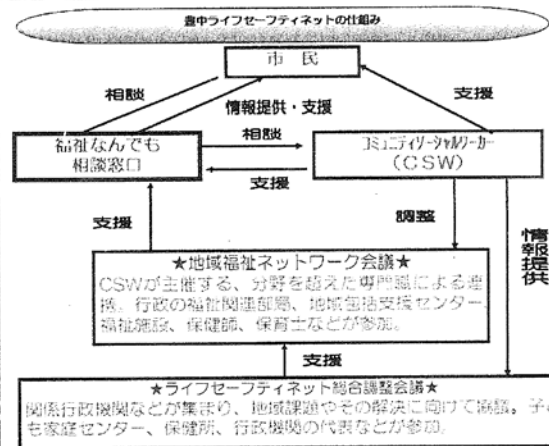
給食サービスボランティア



見守り世帯は 12000世帯に、



福祉なんでも相談窓口



地域福祉ネットワーク会議 生活圏域単位 地域課題の共有。 施設、関係機関、住民が参加



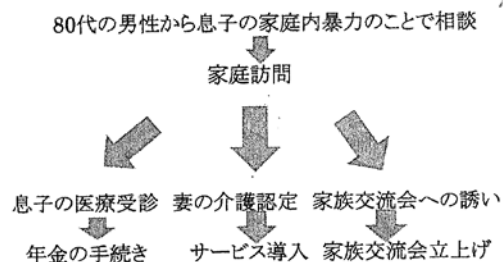
ライフセーフティネット総合調整会議



制度の狭間の支援事例から

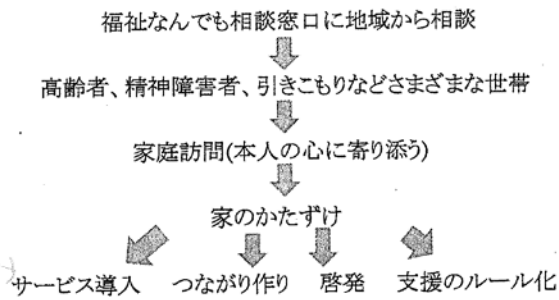
- ・一人暮らしのひきこもりのAさんの支援
- ・ゴミ屋敷でサービス拒否の90代のひとり暮らし
- ・父親が病気で多重債務に陥る多問題家族
- ・転勤族で二人目の出産に悩む子育て世帯
- ・親なきあとの精神障害者世帯への支援
- ・若年性アルツハイマーの親を介護する若い介護者の支援
- ・広汎性発達障害で就労に悩む親子の支援
- ・高次脳機能障害の家族支援
- ・外国人親子の地域生活支援
- ・DVで逃げてきた親子の生活支援
- ・ホームレスの生活支援 など

事例1 引きこもり支援



こたにみしりとした。

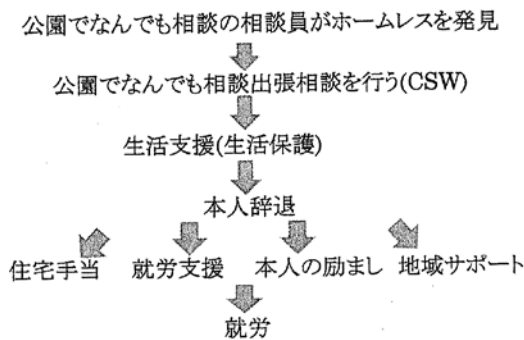
事例2 「ごみ屋敷」支援



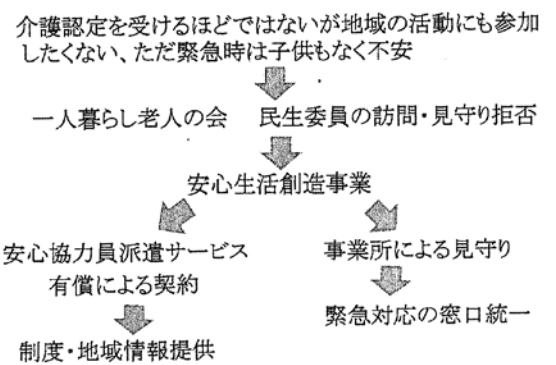
ゴミ屋敷リセットプロジェクト



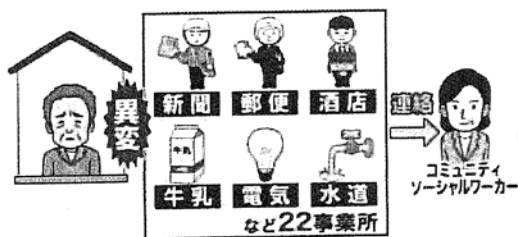
事例3 ホームレス支援



事例4 元気なひとり暮らし高齢者への支援



5, 安心生活創造事業ひとり暮らし応援事業者による見守り緊急時の対応の仕組み



安心キットの配布で掘り起こし



高次脳機能障害者家族交流会



男性介護者交流の集い



八カ国語の地域福祉ガイドの作成



コミュニティソーシャルワーカーとして心掛けていること

- 社会的排除をさせない
- 困っている人を支える人を地域に増やしていく
- 制度の狭間の課題こそ地域福祉発展の芽
- 地域での問題解決力を高める
- 本人の支援と本人の社会関係を広げていく
- 同じ問題を抱える人を横につなぐ(独りぼっちをつくらない)
- 社会資源につなぐ、なければ生み出す。
- ネットワークとフットワークと諦めない心

住民と専門職が協働するためのコツ

- 制度の狭間の課題を地域力で発見し、支える
- 住民任せにしない、行政任せにしない
⇒ともに支援を考える場づくり
- 24時間の生活を公・民協働で支える
- それぞれのできることを出し合い、少しでもできることを増やしていく。
- ⇒100できなければ辞めるのではなく、
1でもできることを増やす
- 仕組みが一番困っている当事者とともに進める
- 住民が困っている時は絶対支える、逃げない
- ソーシャルインクルージョン
⇒これらをコーディネートするCSW



inclusion (障害者スポーツ)
身体障害者と健常者が
一緒に活動して学ぶという理念

事例5 若年性認知症

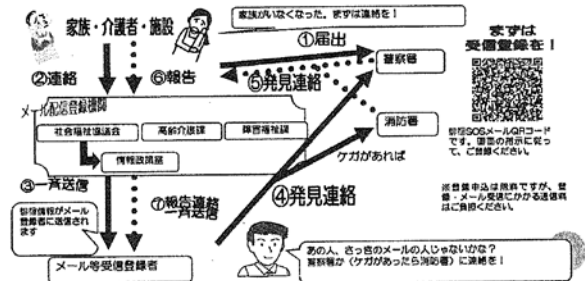
若年性認知症の母親の徘徊について相談

実際に孫を連れて徘徊する

若い介護者の集い 校区ミニデイに誘う プロジェクト会議
 子育て・介護情報提供 本人ボランティア 徘徊SOSメール
 孫赤ちゃんボランティア
 キャラバンメイト受講 サービス利用

コミュニティソーシャルワーカーの取り組み

○徘徊SOSメール



なんでも相談から 開発プロジェクト...

- 徘徊SOSメール
- ゴミ屋敷リセットプロジェクト
- 悪質リフォーム対策会議
- 男性介護者交流の集い
- 若い介護者の集い
- 校区単位の車椅子の貸し出し
- チャボラサロン
- 高次脳機能障害家族交流会
- ケアマネジャーと地域活動のガイドライン
- 一人暮らし高齢者支援方策検討委員会→アンケート調査
- 広汎性発達障害家族交流会
- 小地域次世代育成人材養成プロジェクト 等々

悪質リフォーム対策会議



ゴミ屋敷リセットプロジェクト



75才以上の一人暮らし高齢者アンケート調査

